

氏名	江口のぞみ	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	精神看護学				
学位	博士（保健学）				
学歴	2003年 兵庫県立看護大学看護学部看護学科卒業 2012年 東京大学大学院健康科学・看護学専攻精神看護学分野博士前期課程修了 2019年 東京大学大学院健康科学・看護学専攻精神看護学分野博士後期課程単位取得満期退学 (2020年修了)				
経歴	2003年 精神医学研究所附属東京武蔵野病院看護師 2006年 兵庫県立大学看護学部看護学科助手 2019年 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科精神看護学准教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本災害看護学会、日本GID学会、日本精神障害者リハビリテーション学会、 日本看護管理学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	性別違和を有し、治療を継続する人のベネフィット・ファインディング		GID（性同一性障害）学会第22回研究大会・総会	江口のぞみ○、森田康子、宮本有紀、石丸径一郎、針間克己	2021.4	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	精神看護学Ⅰ		1	自分自身のメンタルヘルスについて、具体性をもって理解できるように、事例や映像資料を用いて講義をおこなった。		
2	精神看護学Ⅱ		2	精神疾患をもつ人の治療、精神科における基本的人権と倫理的問題について、学生が構造的に理解できるように講義を行った。		
3	メンタルヘルス論	○	4	科目責任者として、メンタルヘルスの回復・保持・増進に必要な支援を総合的に理解でき、主体的に学習できるように、授業を構成している。講義（総論）とグループワークを担当した。		
4	看護基盤科学 臨床薬理学		3	薬物療法に関わる臨床判断、症状マネジメント、安全な服薬管理等について、事例を通して議論し、看護実践への活用について検討した。		
5	看護実践科学 精神看護制度論		1	性別違和を有する人のメンタルヘルスと当事者に関わる制度について講義を行った。先行研究や教員および学生の体験に基づき議論を行った。		

(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	精神看護学Ⅱ		8	3年次生に対して「場面の再構成演習」と「ケアプランの作成」演習の指導を行い、学生間で活発にディスカッションが行われるように調整した。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	総合実習		2021.7-2021.8	4年次生に対して精神科デイケアでの実習指導を行い、精神障害をもつ人の理解と地域で必要な支援を統合的に学べるように調整した。	
2	精神看護学実習	○	2021.8-2021.9 2021.11- 2021.12	科目責任者として、実習を構成し、3年次生に対して臨地、学内演習、遠隔での実習指導を行った。精神障害をもつ人の理解と看護を学べるように医療機関や地域施設の実習指導者と調整を行った。	
3	IPW実習		2021.10	教員ファシリテーターとして、学生チームの学習・実習環境を整備し、チーム活動が円滑に進むように支援した。	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業研究	2021.4-2021.12	主指導	4名	副指導 0名
(5) その他					
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月	
1	埼玉県立大学一般公開講座	埼玉県立大学	家族のためのリカバリートーク	2021.10	
2	埼玉未来大学熊谷学園前期課程	埼玉未来大学	心をつなぐコミュニケーション	2021.4	
3	埼玉未来大学伊奈学園前期課程	埼玉未来大学	心をつなぐコミュニケーション	2021.10	
4	防災・日本再生シンポジウム	埼玉大学	新型コロナ感染拡大と防災－ジェンダー・ダイバーシティの視点から展望をひらく－ 「コロナ禍におけるセクシュアル・マイノリティ」	2021.12	
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1	一般社団法人Spring 共同研究「性暴力被害経験に関する質的研究」調査チーム	分担研究者		2017.10-	
2	東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 精神看護学分野	客員研究員		2019.4-	
3	日本災害看護学会	社会貢献・広報委員会委員		2021.9-	
4	さいたま市精神保健福祉審議会	審議会委員		2021.9-	
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容		年月	
1	埼玉県社会福祉協議会 広報誌	広報誌「S・A・I」 巻頭インタビュー コロナ禍 福祉職のメンタルヘルスを考える		2021.6	
(4) その他					
	項目	相手方等	内容	期間	
1	地域貢献活動	埼玉県保健所	新型コロナウイルス感染症対策に係る埼玉県保健所への応援活動	2021.5-2022.3	
5. 学内運営					
	項目	内容		期間	
1	学科等における委員会等	実習計画調整会議		2021.4-2022.3	
2	学科等における委員会等	看護学科2年生担任		2021.4-2022.3	

3	学科等における委員会等	国試対策プロジェクト	2021.4-2022.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		